

# ライダーズ・イン・ザ・スカイ 第90号

新潟県央工業高校（旧三条工高）山岳部OB会発行 2018.9.15

## 1 2018 OB会を学校の合宿所と弥彦山で開催！

期 日 2018年10月28日（日） 18:00

会 場 県央工高共和会館（合宿所） 電話：同窓会事務所 0256-33-0880

会 費 500円（茶菓・ソフトドリンク代）

持ち物 特になし

宿泊者はシュラフ・マット他（合宿所は同窓会HPの「事務局の所在紹介」をご確認ください）  
合宿所はフローリングで、寝具、食器・武器等の用意はありません。

27日は文化祭です。  
山岳部も展示します。

## OB会親睦・弥彦山登山

8:00 学校出発（各自又は乗り合わせ）

9:00 弥彦商工会駐車場集合・出発 表参道登山道より登ります

11:30 弥彦山頂大平園地の高頭仁兵衛寿像碑前に集合  
（一般にいられている山頂御神廟ではありません。）

記念撮影・昼食

12:00 解散（悪天であれば早くなるかも…）

今年は単一日開催です。  
午前中に弥彦山へ親睦登山。  
夜、OB会総会です。

学校と弥彦商工会駐車場で集合・出発合図の後は自由登山。

山頂大平園地で集合をかけて集合写真を撮って解散。その後は自由。

<補足> 8:00に学校を出発

9:00 弥彦商工会駐車場で合流もOK。

11:30 大平園地集合だけでもOK。ロープウェイを使って大平園地で合流もOK。  
自動車でスカイラインを使って大平園地で合流もOK。

家族連れ歓迎！

## OB会総会

18:00 総会開会

1 ライダーズ・イン・ザ・スカイ合唱  
（金子達先生の録音にあわせて）

2 会長あいさつ

3 議事

①会計報告

②役員改選

4 現役報告

18:30 会員交流会

1 乾杯（ノンアルコール・ドリンク）  
茶菓を食べながら

2 親睦登山の報告

3 部の山行報告

4 自己紹介・近況報告

5 記念写真

校地内  
禁酒・禁煙  
です

20:00 自主交流

・希望者にボルダーリング講習 希望者は宿泊可！

### 弥彦山頂大平園地

ロープウェイ山頂駅から山頂御神廟とは逆方向の多宝山に向かい、スカイラインを横断し、高さにして50m登ると碑と東屋がある広場に出る。360°の展望がきく。

### 高頭仁兵衛寿像碑（たかとうにへいじゅぞうひ）

日本山岳会創立者の一人で初期の日本山岳会の会長になられた越後の生んだ岳界の巨人、高頭仁衛翁の寿像碑。明治10年三島郡深才村（現長岡市）に生まれ、明治39年日本山嶽志を公刊。この寿像は日本山岳会越後支部が昭和25年、弥彦山頂に建立。昭和35年、山頂社務所の改築のため大平へ移された。日本山岳会により毎年、高頭祭が開催され、歴代の日本山岳会の会長らが遺徳を偲んでいる。

申込み：出席の有無を10月18日（木）まで、いずれかの方法で連絡してください。  
 ・同封のハガキ ・メール：webmaster@mtob.sakura.ne.jp ・OB会HP内「会員のひろば」

## 2 役員は以下のとおりです

会 長	広瀬守彦 (H07)	事務局住所・返信受け取り、総会担当
事務局長	川村浩貴 (H19)	総会担当
次長	猪熊尚洋 (H03)	ホームページ担当・ライダース作成
次長	吉田光二 (S46)	ライダース作成・発送・会計担当
顧 問	斎藤 勲 (S41)	ライダース担当

## 3 OB会会計報告 (2017年10月～2018年9月)

収 入		支 出		
費 目	金 額	費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	698,261	通信費	35,642	送料・葉書他
入会金	3,000	運営費	4,594	消耗品・HP 運営他
2017年総会残金	11,820	総会費	0	
預金利息	5	現役助成	30,000	文登研助成
カンパ収入	0	慶弔費	18,884	記念品他
収入合計	713,086	支出合計	89,120	
		収支残高	623,966 円	次年度へ

繰越金の内訳：普通預金 623,966 円

## 4 部の山行報告 (OB会ホームページ掲示板から転載)

### ① 県総体報告

5/31(木)～6/2(土)の3日間、県総体に行ってきましたのでご報告いたします。

当初3年生4人で参加予定でしたが、出発前日メンバーの一人が高熱を出してしまい、急遽2年生を連れていくことになりました。

選手はめげずにいつも以上に声を掛け合い頑張りましたが、及ばず4位という結果でした。

北信越にも行けないということになり残念ですし、申し訳ないです。これにめげず来年に向けて頑張りたいと思っています。今後とも応援よろしくをお願いします。

5/31(木)～6/2(土)火打山周辺(富士見平→高谷池ヒュッテ→茶臼山→黒沢池ヒュッテ→富士見平周回)

・笹ヶ峰登山口から富士見平

ガスの中ずっと続く木道は、どの学校もハイペースで進んでいました。

十二曲がり後の急登はシラネアオイが群生していて、こちらは自然観察の問題にもでていました。

富士見平手前の沢地形でメインザックをデポし、サブザックへ。

・富士見平から高谷池ヒュッテ、茶臼山、黒沢池ヒュッテ

危険箇所が多いため、パーティー行動で高谷池ヒュッテまで移動。

雪は相当解けていましたが、このあたりからザクザクの雪がかなり体力を奪っていました。

茶臼山のあたりで天候が回復し、見通しの良い中を下っていきました。

・黒沢池ヒュッテから富士見平、登山口へ

木道は濡れていて滑りやすくなっていました。富士見平手前の最後の登り返しは相当堪えたようです。3年生はひとまず引退という形ですが、この大会でのことを引き継ぐためにもうしばらく部活に来てくれるとのことでした。

1年生も1人加わりましたので、2年生と合わせて4人、頑張りたいと思います。

顧問 久住公彦



高谷池ヒュッテ附近



黒沢ヒュッテ付近



火打山

## ② 燕岳

8/3、4と燕岳へ1泊2日の合宿へ行ってきました。中房温泉口から登り、合戦小屋で幕営。翌日、山頂を踏んで下山の行程でした。当初、燕山荘のテン場に泊まる予定でしたが、テントの最大設営数が約30であること、また大人気の山域ということもあり、スマートフォンで燕山荘と直接テン場の状況を確認しながらの山行でした。合戦小屋に着いた段階で燕山荘のテン場が埋まったため、あまり知られてませんが、そこにある予備のテン場（詰めて10張）での幕営となりました。

メインザックを担いでの合戦尾根の登りは相当辛く、顧問、生徒共に汗の量も半端なく吹き出し、登りだけで1人約1.5～2リットルの水を消費したかと思います。2年生は体力があり余力を残しての登山であいたが、唯一の1年生には体力的にキツかったようです。

翌日は晴天に恵まれ、山頂からは360°遮る雲無し、北アルプスの大パノラマが広がっていました。私ごとですが、”生徒に本当に見せてあげたい景色を見せてあげられた山行”でした。

顧問 岡村 孝



## ③ 尾瀬

8月20日から23日にかけて3泊4日で尾瀬合宿に行ってきましたのでご報告します。参加生徒は3年生3名を含む7名で、引率は松尾先生を含む全顧問4名です。

1日目：御池からバスで尾瀬沼山峠、尾瀬沼キャンプ場で幕営。

2日目：長英新道で燧ヶ岳山頂へ、そこから見晴新道で見晴、木道を歩いて山の鼻で幕営。

燧ヶ岳山頂から弥彦・角田が見えて生徒・顧問共々感動してました。私ごとですが、地元の巻から燕、吉田、寺泊までの弥彦・角田山麓に近い場所から、晴れた日に燧ヶ岳を何度も見てきましたので、逆方向からのサプライズがあるとは嬉しい誤算でした。その反動なのでしょうか、見晴新道が一部ルート変更されていて、これがとんでもない悪路で大苦戦。根っこの張り出した滑りやすくて小刻みなアップダウンを繰り返す狭いトラバース道で、おまけに足場はドロドロの田んぼ状態。重たいメインザックを担いでいることもあり、生徒はハイハイいいながらの下山でした。

3日目：サブで高天原を見ながら至仏山を直登し、鳩待峠を經由して山の鼻へ、テントを撤収して見晴で幕営。

この日も快晴に恵まれ、山頂からは武尊山の後ろに富士山が見えて、2日続けての奇跡？に恵まれました。記念写真は妙高・火打をバックにしています。因みに山頂からは米山も見えました。

4日目：三条の滝を見て御池へ、車で銀山平の”白銀の湯”で汗を流して帰路につきました。

出発前は台風の進路が気でしたが、終わってみれば4日間を通じて晴天に恵まれました。生徒はこのきつい行程（特に2日目）にも関わらず、怪我や事故など無く元気にたくましく熟してくれて、実り多い合宿であったかと思えます。

再度私ごとですが、その昔訪れた尾瀬の景色と比べて、近年、湿原の草原化？が進んでいるような印象を受けました。鹿が湿原の植物を食べ散らかし、その糞で富栄養化が進んでいるのでしょうか？ また、今季の全国的な猛暑は尾瀬も例外ではなく、雨が少ないのでしょうか夏バテ・夏枯れ？を起こしている植物や、咲く季節を勘違いしたのでしょうか秋に咲く花が目立ち、一部紅葉している植物もありました。

顧問 岡村 孝



## 5 現役報告

今年の県総体は優秀校。

☆今年度の顧問 岡村孝先生 久住公彦先生 鈴木美奈子先生 松尾和浩先生

☆今年の部員数 1年生1名 2年生3名 3年生4名

我が部の伝統は、数の多い少ないにかかわらず部員をつなぎながら登山を志向する心を伝えていくこと。そのためには厳しくも山を楽しむこと。そして山に学ぶこと。山で学んだことは生涯の財産です。大会成績はその結果にあるというものです。優秀校、立派ですよ！

## 6 OB会ホームページも随時更新しています

「会員のひろば」にアクセスするためのID、パスワードは下記のとおりです。念のため部外秘でお願いします。ID:\*\*\*\* / パスワード:\*\*\*\*

掲示板には部の山行報告やOBの登山報告などが投稿されています。皆さんも遠慮なく投稿してください。会員名簿にもアクセスできます。

## 7 ライダース・イン・ザ・スカイ (eメール版)

電子メールで短信を配信しています。配信登録をよろしくお願いします。

【メールアドレス登録ページ】

<http://mtob.sakura.ne.jp/cgi-bin/mag/regist.cgi>

<http://mtob.sakura.ne.jp/ris/index.html#tourouku>

携帯電話の設定をご確認ください。「webmaster@mtob.sakura.ne.jp」からの受信を許可してください。



## 全国大会成績評価実施要領と三条工高から受け継いできた県央工高山岳部テーゼ

### 登山大会成績評価実施要領（抜粋）

登山大会は、正しい高校生登山の在り方を求め、その着実な展開と研究を主目的として安全登山を推進するためのものである。単に優勝を競い順位を争うものでなく、大会の主旨を尊重し、登山の基礎的な技術・態度を着実に実践できることを主眼として行うものである。

### 県央工高山岳部テーゼ

- ・四季を通じて健全な登山（精神・技術を含めて）を教えること。
- ・その登山は、社会人になって登山のリーダーとなり得ること。
- ・大会はその励みと実力テストである。

今号作成担当：吉田光二